

5月 24日(金)

| 第一会場(33号館 第10会議室) | | 第二会場(39号館 第5会議室) | |
|--------------------------------|---|---|---|
| 司会: 洪 晟準 (檀国大学校 日本研究所) | | 司会: 崔 升銀 (檀国大学校 日本研究所) | |
| 開会式 | | | |
| 10:30-10:45 | 受付 | | |
| 10:45-10:50 | 開会の辞: 許 在寧 (檀国大学校 日本研究所 所長) | | |
| 10:50-10:55 | 挨拶: 鄭 滢 (檀国大学校 日本研究所 運営委員長) | | |
| 10:55-11:00 | 挨拶: 中嶋 隆 (早稲田大学) | | |
| 基調講演 | | | |
| 11:00-11:50 | 李 成市 (早稲田大学 文学学術院) 東アジアにおける知識の流通に関する一視角 - 国民史の伝播と受容を中心に - | | |
| Lunch | | | |
| 第一会場(33号館 第10会議室) | | 第二会場(39号館 第5会議室) | |
| <第一発表会> 司会: 洪 晟準 (檀国大学校 日本研究所) | | <第二発表会> 司会: 崔 升銀 (檀国大学校 日本研究所) | |
| 13:20-13:40 | 金 景南 (檀国大学校 日本研究所) 日帝強占期朝鮮学と民族学の知識地平に伴う伝説採集活動の意味 - 『東亜日報』‘伝説の朝鮮’連載を中心に- | 13:20-13:40 | 李 炳旻 (檀国大学校 日本研究所) 近代変革期宗教知識の知識権力への転換研究 - 東学の展開様相を中心に - |
| 13:40-14:00 | 金 廣植 (立教大学) 1920年代の朝鮮説話集の刊行と東アジア民俗学者 | 13:40-14:00 | 石原 千秋 (早稲田大学 教育・総合科学学術院) 知識が権力になるときー漱石のジェンダー・トラブルー |
| 14:00-14:20 | 堀 誠 (早稲田大学 教育・総合科学学術院) 俗信と文学のテキスト空間 ー言語表現と生活ー | 14:00-14:20 | 高松 寿夫 (早稲田大学 文学学術院) 8世紀行政文書に見る漢籍受容ー「養老改元詔」を中心にー |
| 14:20-14:40 | 総合討論 金 景南, 金 廣植, 堀 誠, 許 在寧 | 14:20-14:40 | 総合討論 李 炳旻, 石原 千秋, 高松 寿夫, 鄭 滢 |
| break time | | break time | |
| <第三発表会> 司会: 金 廣植 (立教大学) | | <第四発表会> 韓国語セッション 司会: 金 景南 (檀国大学校 日本研究所) | |
| 15:00-15:20 | 洪 晟準 (檀国大学校 日本研究所) 日本近世期の出版文化と知識の伝達 - 須原屋市兵衛を中心に - | 15:00-15:20 | 崔 升銀 (檀国大学校 日本研究所) 貝原益軒の紀行文と知識の共有 |
| 15:20-15:40 | 和田 敦彦 (早稲田大学 教育・総合科学学術院) 第二次大戦下早稲田大学の国文学研究: 変貌する東アジア研究の中で | 15:20-15:40 | 康 潤伊 (早稲田大学 教育・総合科学学術院) 在日朝鮮人文学の危機/転機(クライシス) ー「終焉」と「拡散」を超えるためにー |
| 15:40-16:00 | 陣野 英則 (早稲田大学 文学学術院) 漢籍・漢詩文の知識を伝達する『源氏物語』 | 15:40-16:00 | 朴 炳善 (台湾国立政治大学) 台湾と日本の韓国語学習と文化認識 - イメージと文化教育 - |
| 16:00-16:20 | 総合討論 洪晟準, 和田 敦彦, 陣野 英則, 鄭 滢 | 16:00-16:20 | 総合討論 崔 升銀, 康 潤伊, 朴 炳善, 許 在寧 |
| Reception | | Reception | |

5月 25日(土)

| 第一会場(33号館 第10会議室) | | 第二会場(39号館 第5会議室) | |
|------------------------|---|------------------------|--|
| <第五発表会> | | <第六発表会> 中国語セッション | |
| 司会: 崔 升銀 (檀国大学校 日本研究所) | | 司会: 李 炳旻 (檀国大学校 日本研究所) | |
| 13:00-13:20 | 金 世宗 (檀国大学校 日本研究所) 哲学的知識の2つの形態: 認識論と存在論(1) - 老子の思想の認識論的・存在論的理解試論 | 13:00-13:20 | 尹 志源 (檀国大学校 日本研究所) 嚴復の近代認識についての一考察 |
| 13:20-13:40 | 金 昌洙 (檀国大学校 日本研究所) 朝鮮後期の燕行智識と華夷観の二層位 - 耳溪 洪良浩の北學思想と中華意識を中心に - | 13:20-13:40 | 原口 耕一郎 (中国 西安交通大学) 「律令国家」の対「辺境」政策に見る中国思想受容の一端 |
| 13:40-14:00 | 孟 榮一 (檀国大学校 日本研究所) 東アジア知識社会化の主体 | 13:40-14:00 | 崔 哲元 (檀国大学校 日本研究所) 翻訳された『自由論』を通して見た近代中国と西欧文明の拮抗 |
| 14:00-14:20 | 河野 貴美子 (早稲田大学 文学学術院) 平安期における中国古典籍の撰取と利用 - 空海撰『秘蔵宝鑰』および藤原敦光撰『秘蔵宝鑰鈔』を例に - | 14:00-14:20 | Nguyen Tuan Cuong (越南漢喃研究院) ベトナムにおける儒家知識教育と伝播 - ベトナムの児童書を中心に - |
| 14:20-14:40 | 総合討論 金 世宗, 金 昌洙, 孟 榮一, 河野 貴美子, 許 在寧 | 14:20-14:40 | 総合討論 尹 志源, 原口 耕一郎, 崔 哲元, Nguyen Tuan Cuong, 鄭 滢 |
| 司会: 洪 晟準 (檀国大学校 日本研究所) | | | |
| 閉会式 | | | |
| 14:50-14:55 | 閉会の辞: 陣野 英則 (早稲田大学) | | |
| 14:55-15:00 | 閉会の辞: 許 在寧 (檀国大学校 日本研究所 所長) | | |